

登別市中央地区まちづくり協議会 第1回ワーキンググループ 議事録

開催概要

日 時 令和4年12月26日(月) 18:00~19:15
場 所 登別市役所 第2委員会室
出席者 ワーキンググループ委員 別紙のとおり
昭和株式会社
宮城登別営業所長、堀江開発推進室長(オンライン参加)
事務局(本庁舎整備推進グループ)
篠原総括、大澤主幹、松田主査、大内主査

議事内容

1 開会

事務局(総務部本庁舎整備推進グループ)が進行

2 あいさつ【総務部松田部長】

- ・ 市役所移転後にできるだけ早く跡地の利活用に向けた動きに移るべく、市では令和5年度中に一定の方向性をまとめたいと考えている。
- ・ 本庁舎跡地に市が公共施設などの建物を建設することを考えるのではなく、中央地区を活気あふれる魅力あるまちにするため、市民、事業者、行政が活性化のために何ができるのかということも併せて協議することが必要である。
- ・ ワーキンググループは未来の登別市のあり方を左右する大変重要な会議体ではあるが、まずは皆さまの忌憚のない意見を出すことが重要であると考えているので、気構えることなく皆さまの意見や要望などを発言していただきたい。

3 ワーキンググループ委員の紹介について

事務局より、参加した委員を紹介。

4 まちづくりの事例紹介について

昭和株式会社 登別営業所 所長 宮 城 由 典 氏
昭和株式会社 営業開発室 室長 堀 江 佑 典 氏(オンライン参加)

【堀江室長が参加している福島県須賀川市の事例を説明】

(主な説明内容)

- ・ 社会状況の変化にともないまちづくりの課題も多様化・ポータレス化している。
- ・ 一問一答で課題が解決できるものではない。

- ・ 行政も民間も、個々のノウハウや取り組みには限界があるので、「産・学・官・民」がしっかりと連携することが大切である。
- ・ 行政主導になると迅速な対応や思い切った事業展開を実施しにくい傾向にあるので、民間主導でまちづくりを進めることが望ましい。
- ・ 特に重要なのは、「単に連携する」ことではなく「相互の価値や可能性を高め合える関係づくり」である。
- ・ 登別には登別に適した進め方やまちづくりに関するチームの作り方がある。
- ・ 参加者が楽しく考えて、その地域の将来の見通し（ビジョンのようなもの）であるとか、工夫や課題を共有できる機会や場をつくることが大切である。

5 ワーキンググループの取り組みについて

別紙資料により事務局が説明

(主な説明内容)

- ・ まちづくりの根幹となるコンセプトが現時点で決まっていない。
- ・ 何かをはじめるとしても、コンセプトが決まっていないと場当たりの対応になってしまうおそれがある。
- ・ 中央地区に賑わいがなかったり、将来性がなければ新たに事業者が進出することは考えにくい。
- ・ 市だけではなく、関係者が一丸となって協議を進めることが必要である。

(主な質疑)

【A委員】

- ・ 令和5年度中に本庁舎跡地の方向性を定めるというが、拙速ではないか。
- ・ 中央地区のまちづくりに関する協議の開始時期を遅らせることはできないのか。

【事務局】

- ・ 本庁舎跡地のあり方について、現庁舎跡地の利活用の方向性を出すのに協議がさらに必要であると判断した際は、令和5年度中に結論を出さず、令和6年度以降も協議を継続していくことも構わないと考えている。
- ・ 本庁舎跡地の利活用については、本庁舎移転後に考えるのではなく、移転後速やかに動きたいという思いがある。

【A委員】

- ・ 本庁舎跡地の利活用に関する協議をやめてほしいというつもりはないが、現在、市が市民等と協議を進めている他の案件のメドがついてからこの協議を始めてもいいのではないか。

【B委員】

- ・ 商業者としての意見だが、市役所移転にともない人の流れは確実に変わる。
- ・ これまで市役所に寄ったついでに店に立ち寄ってくれた人が本庁舎の移転によって少なくなり、売り上げが落ちることは確実である。
- ・ 本庁舎が移転してから次のことを考えているようでは、中央地区にある商業者は厳しい。
- ・ 商業者としては、移転する前から本庁舎跡地の利活用や中央地区のあり方の方向性を出してほしい。

【C委員】

- ・ 補助金などを有利に活用できるのであれば、早いうちから協議を進めていくことはいいことだと思う。
- ・ 年明けから協議を進めようと話をしているのだから、協議を進めていけばいいのではないか。

【D委員】

- ・ 昭和株式会社さんからの話を聞くと、まちづくりに10年以上の年月がかかって現在のようになっている。
- ・ 私は、若い世代の委員からの意見を楽しみにしている。
- ・ 自分の既成概念ばかりを押し付けても何も良くならない。
- ・ まちづくりに関する協議をさまざまな立場の方と進めていけるのであれば、会議に参加した意味はあると考えている。

【事務局】

- ・ 中央地区のまちづくりに関する協議は、じっくり時間をかけて進めていきたいと考えている。

6 その他

- ・ 今後の連絡をペーパーレスや脱炭素の観点から、報告していただいたメールアドレスに送信したい。
- ・ 次回のワーキンググループ開催を令和5年1月中に開催したいと考えている。
⇒委員からの質問、意見なし

7 閉会

19時15分 閉会

以上